

平成 17 年 5 月 17 日

各 位

株式会社 三井住友銀行  
S M B C コンサルティング 株式会社

### 大学保有のライセンス販売支援開始について

三井住友銀行およびグループの S M B C コンサルティングは、大学の知的財産を活用した新ビジネスの創出を後押しする目的で、大阪大学並びに東京農工大学を対象として、大学の研究シーズ（ライセンス）を、新ビジネス創出を目指す成長企業・中小企業につなぐ「大学ライセンス活用プラン」を開始いたします。今後、私立大学を含め、対象大学を順次拡大して参ります。

大阪大学については、三井住友銀行グループがライセンスニーズのマーケティングを行い、最適な取引先企業に対し事業化提案を行います。東京農工大学については、S M B C コンサルティングが提携する評価会社のフレッジテクノロジーが、研究シーズの技術評価からビジネスモデル化までを付加したうえで、ライセンス先のマーケティングを実施する予定です。

これまで大学の研究シーズは、多くの場合「専門性、研究の優位性のみが強調」され、企業側にとって「実用展開が明らかでなく利用しにくい」面があり、また、大学が持つ企業への販売チャンネルも限定的なものでした。今回のプランは、三井住友銀行のベンチャー企業向け融資商品「Vファンド」において、事業の将来性評価で豊富な実績のあるフレッジテクノロジーと提携し、大学の研究シーズを評価のうえ、ビジネスモデル化し、邦銀系最大の会員数を有する S M B C コンサルティングの会員企業（4 万社超）につなぐ試みであり、大学の技術移転ならびに企業の新ビジネスの創出に資する取り組みです。

ライセンス販売が成約した場合には、大学より成功報酬を受取る予定ですが、本年 4 月以降、国立大学法人がライセンス対価をベンチャー企業などから株式で受取ることが可能となりましたので、このようなケースでは、大学からの成功報酬をベンチャー企業株式で受取ることも検討いたします。

三井住友銀行グループでは、産学連携促進への取り組みを一層推進して参ります。

< 東京農工大学の 場合 >

